

関交企第 159 号
関交推第 57 号
関自旅一第 1746 号
令和 4 年 2 月 28 日

青梅市公共交通協議会 会長 殿

関東運輸局長
(公印省略)

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

標記について、地域公共交通確保維持改善事業実施要領（平成 23 年 4 月 1 日付け、国総計第 5 号、国鉄財第 4 号、国鉄業第 4 号、国自旅第 20 号、国海内第 8 号、国空環第 5 号）8.（1）②の規定に基づき、地域公共交通確保維持改善事業に係る二次評価を実施しましたので、評価結果を通知します。

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和4年1月12日

協議会名： 青梅市公共交通協議会

評価対象事業名： 地域公共交通計画策定事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
【第1回、第2回、第3回協議会】 1. 時代潮流と上位・関連計画の整理 ○策定の背景・理由と、策定するための調査の枠組みの把握 ○時代潮流、法律の改正、上位・関連計画、既往の世論調査における市民意向の把握 2. 公共交通に関する状況把握 ○町丁別の人口動向・従業者数動向、主要な施設の立地状況、公共交通の状況の把握 ○民間等による地域交通の把握 ○公共交通空白地域の圏域の検討 ○新たな地域公共交通としてチョイソコの視察と、システムの把握 3. 市民ニーズの把握 ○調査目的とアンケート構成案の検討 4. 現状・問題点のまとめ、課題の整理 ○青梅市の公共交通に関する課題整理(一部)と方向性のポイントの検討 ○まちづくりと連動した公共交通ネットワークとして、市民参加型の公共交通利用促進策の検討 5. 協議会の運営 ○第1回は、令和3年5月18日に書面開催 ○第2回は、令和3年9月27日に開催 ○第3回は、令和4年1月12日に開催 【第4回協議会(令和4年3月開催予定)】 1. 時代潮流と上位・関連計画の整理 — 2. 公共交通に関する状況把握 — 3. 市民ニーズの把握 ○第3回協議会後に、市民アンケートを実施し、その結果(速報値)を示し、状況を把握 4. 現状・問題点のまとめ、課題の整理 ○第3回協議会後に、民間等による地域交通にヒアリングを行い、地域公共交通としての可能性の検討 ○チョイソコの活用の可能性の検討 ○まちづくりと連動した公共交通ネットワークとして、市民参加型の公共交通利用促進策の検討(第3回の続き) ○昨年度実施した河辺1～3丁目地区におけるアンケート結果を活かし、運行ルート、利用者の需要、収支の検討 5. 協議会の運営 ○第4回は、令和4年3月に開催予定	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【事業名】 地域公共交通計画策定業務 【実施時期】 令和3・4年度 【令和4年度の事業実施項目】 (1)時代潮流と上位・関連計画等の整理 (2)公共交通に関する状況把握 (3)市民等のニーズの把握 (4)現状・問題点のまとめ、課題の整理 (5)課題に対応した施策の検討 (6)地域公共交通計画(案)のとりまとめ (7)協議会の運営 令和4年度の【計画策定の方針】 ○令和3年度の成果を踏まえ、施策として「公共交通のベストミックス」、「公共交通空白地域等への対応」、「まちづくりと連動した公共交通ネットワーク」、「新技術の活用」を検討する予定である。 ○また、施策の検討を踏まえ、将来像および計画目標・数値目標を設定し、そのうえで、施策の精査を行い、計画を取りまとめていく予定である。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	計画策定にあたって市民ニーズの把握や現状・課題整理を丁寧に行うなど、事業が計画通り適切に実施されており評価できる。 今後の計画策定の検討にあたっては、第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を参考としていただきたい。 ・住民にアンケートやヒアリングを実施した際、対応が難しい意見に対して、無回答ではなく可能性に繋がる回答をすると、住民からの信頼及び関心が増す。 ・運行形態の変更や、「輸送資源の総動員」に積極的にチャレンジしていただきたい。 ・公共交通機関の活用により得られるクロスセクター効果(交通事故のリスクを下げることによる「安全」の確保や、おでかけによる「健康」維持、等)は重要なポイント。 ・アプリなどを使わなくても、交通手段を束ねて案内すること、政策を束ねていくこそが「MaaS」のコンセプトであり、計画検討の際に留意していただきたい。
---------------------------------	--